

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

報告日 令和7年11月20日

P T A名		静岡県立掛川特別支援学校 御前崎分校 P T A				
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input type="checkbox"/> 小学部	<input type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	40人				

1. 使用状況

寄贈物品名	ハンドプレス機（抜き型用工具）
使用学年及び人数	高等部1年～3年 40人
使用頻度	週2回の作業学習 年3回の作業製品販売会前の集中作業期間
使用状況	<p>自主生産作業【手工芸班】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・干支の小物の入れやリースの小物づくりにおいて、小さなパーツの型抜きに使用している。 <p>自主生産作業【革工芸班】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネコやイス、ゾウなどの動物キーホルダーの型抜きに使用している。 また、ゾウのキーホルダーのハトメ付けにも使用している。
物品の使用による変化や効果	<p>6cm×6cmのプレス面は、圧力のかかる面積が小さいため、細かなものの型抜きに関して絶大なる力を発揮している。</p> <p>手工芸班のクリスマスリースに付ける小物や干支の小物入れの小さなパーツなどの型抜きでは、細部まで圧力がかかるため、切り口のきれいなパーツに仕上がった。小さなパーツの切り口がシャープなため、製品全体の仕上がりがより高いものとなった。</p> <p>革工芸班のゾウのキーホルダーのハトメ付けに器具を使用することにより、力のない生徒においても、安全で確実にハトメを取り付けることができた。</p>
今後の活用の見通しや課題	前年度にいただいたRP2000型とALL2000型との併用により、作業工程を細分化できるため、生徒の特性に応じて作業工程を開発することや新製品を開発することに期待が持てる。
その他希望や所感など	今年度、新たな作業製品を一つ加えることができた。今後も地域の方々に愛される定番製品と地域の方々の購買意欲を高める新製品の開発に努めたい。

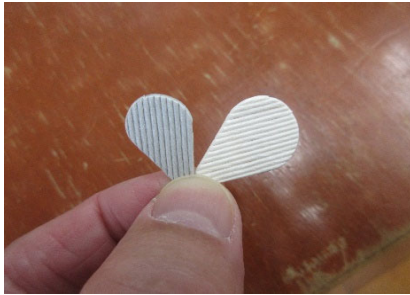
2. 活用の様子

【手工芸班】

『猫のクリスマスリース』
ハンドプレス機を使って猫の耳を型抜きしました。



『干支の置物 うま』
耳やたてがみをハンドプレス機を使って型抜きをしました。



【革工芸班】

新製品『ゾウのキーホルダー』



顔と胴体をハトメで
つなぎます。



完成

